

【建築部門】

事業名 東部地域振興ふれあい拠点施設建設工事  
 受賞機関 埼玉県都市整備部営繕課  
 埼玉県都市整備部設備課  
 春日部市都市整備部鉄道高架整備課  
 実施期間 平成22年8月6日～平成23年9月30日

主な構造用木材（すべて国産材）  
 柱：スギ（鹿児島）  
 梁：カラマツ（岩手）、スギ（埼玉、秋田）  
 LVLパネル：カラマツ（長野、山梨）

完成予想図

LVLパネルと鉄骨フレームによる耐震フレーム

耐震フレームと梁の  
取り合い詳細

〔事業概要と評価〕

本事業は、基本コンセプトに『「都市の森」の創造』を掲げ、高層の木造耐火構造を実現するため大臣認定工法を採用し、鉄骨造と木造のハイブリッド構造で10,000㎡を超える複合施設を実現したものである。この施設の最大の特徴は、5階、6階の上部2層を木構造としていることで、約1,000m<sup>3</sup>もの国産木材を使用しており、建設・解体時のCO<sub>2</sub>の排出量を約25%削減するなど、これからの公共建築物の木造化を先導する事例として注目されている。

事業名 食育・花育センター建設事業  
 受賞機関 新潟市建築部公共建築第1課  
 実施期間 平成22年6月29日～平成23年9月20日

県産材を利用した農舎

Low-eガラスによる熱負荷低減

アトリウム内観

〔事業概要と評価〕

本事業は、地域の産業・文化を育てていく取組として、「食と花」を一体的に学ぶことが出来る拠点施設を整備したものである。木と鉄の混合部材を使用し、建物と植物展示の調和を目指した大空間を特徴とし、準耐火建築物における木構造化の方法として、燃え代設計を採用し、1時間耐火を確保している。また、ペレットボイラーの導入により、温室暖房設備は化石燃料に対して、CO<sub>2</sub>排出がゼロ（カーボンニュートラル）を実現している。